

2022年 東部部会 第1回 研究報告会の開催報告

日本中小企業学会東部部会の第1回オンライン研究報告会は、オンライン会議システム「Zoom」を利用して開催され、活発な議論が展開されました。

■日時 2022年1月30日（日） 13:40～14:55

■実施方法：Zoomによるオンライン報告

■参加者：24名

■【研究報告】

報告者：山本聡（東洋大学）

テーマ：「個人的企業家志向性とワーク・パフォーマンス」

司会：堀 潔（桜美林大学）

報告内容：

企業のパフォーマンスと企業家的志向性（EO）との関係を分析した先行研究は多い。ただし、近年、企業が従業員で構成されていることから、個人的企業家志向性（IEO）が注目されている。本報告では個人のパフォーマンスとIEOと関係が報告された。報告では、ある製造業企業における人事評価（ワーク・パフォーマンス）と従業員に対するアンケートデータに基づき行われた実証分析の結果が発表された。主な分析結果は、IEOとワーク・パフォーマンスとの間には有意な関係がみられないこと、しかし男女に分けてみると男性の場合正の相関、女性の場合には負の相関が見出せるというものである。つまり男女によってIEOの効果は異なっており、ジェンダー・ギャップが存在している。同時に、職務葛藤はワーク・パフォーマンスの上昇、情動葛藤は低下につながることも報告された。報告後の質疑応答では、海外におけるEO研究との関連、概念や指標の妥当性、年齢等との関係などが活発に議論された。



The image shows a Zoom meeting interface. At the top, there are three participant thumbnails: 鈴木 正明 (日...), Satoshi Yamam..., and 中村宙正 (東京...). Below the thumbnails is the TOYO UNIVERSITY logo. The main content of the slide is the title "個人的企業家志向性とワーク・パフォーマンス" (Individual Entrepreneurial Orientation and Work Performance) and the presenter's name and affiliation: "山本 聡, 東洋大学 経営学部 教授 (博士、経済学)".